FURUKAWA ELECTRIC

FURUKAWA ELECTRIC GROUP

2014年度経営プラン
中間フォロー

2014年10月31日

古河電気工業株式会社

代表取締役社長

柴田　光義

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- 米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

目次

FURUKAWA ELECTRIC

1. 2014年度上半期業績概況

2. 2014年度下半期業績予想

3. 2014年度通期予想

参考資料

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

1. 2014年度上半期決算概況

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

概要

FURUKAWA ELECTRIC

■ 上半期営業利益：62億円　（前年同期は旧古河スカイ分除くと63億円）

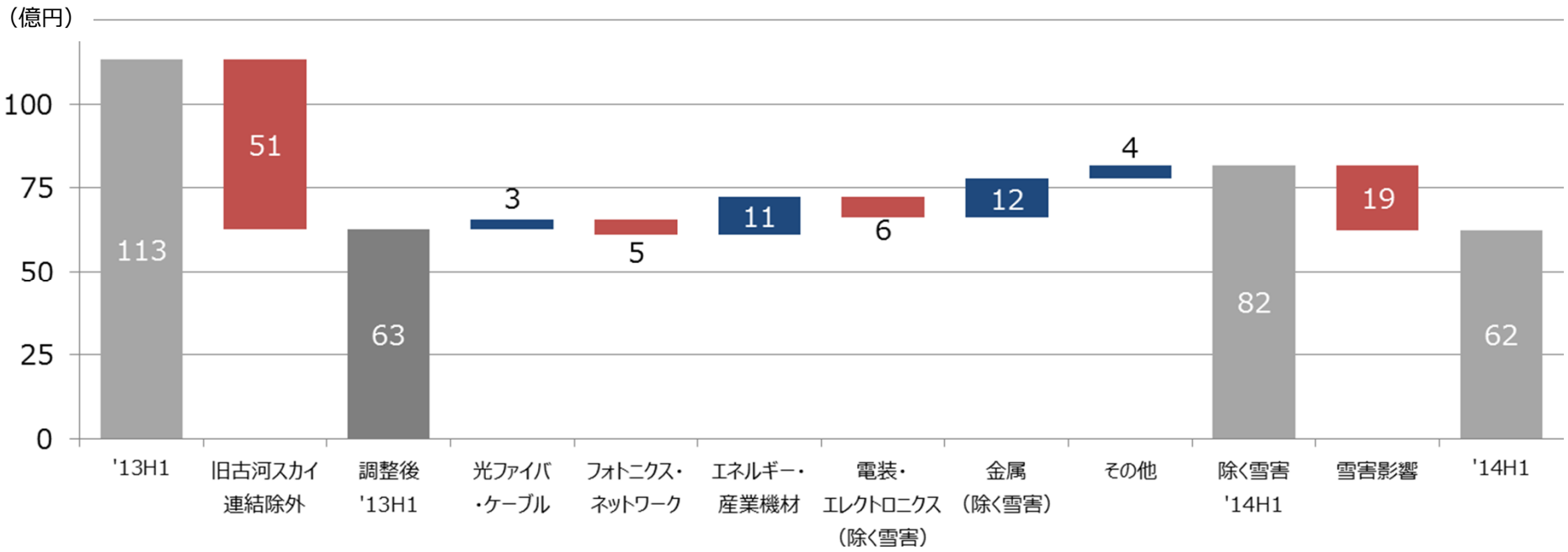
– 電装・エレクトロニクスの自動車部品で円安などによる輸入コストが増加

– 金属の銅条等で雪害影響、銅箔で生産性改善が未達

– 雪害影響を他部門でカバー

・光ファイバ・ケーブル、電力ケーブルの海外子会社は回復

・スマートフォン向け半導体製造用テープなどは好調



All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

要約P&L

FURUKAWA ELECTRIC

（単位：億円）

	13H1	14H1 予想	14H1 実績	前同比 増減	予想比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,841	4,060	4,149	△ 692	89
（率）				-14.3%	2.2%
営業利益	113	70	62	△ 51	△ 8
（率）				-45.0%	-10.9%
持分法投資損益	4	-	10	6	-
為替損益	14	-	△ 2	△ 16	-
経常利益	117	65	72	△ 45	7
（率）				-38.6%	10.1%
特別損益	△ 49	△ 27	△ 34	15	△ 7
法人税等	31	-	17	△ 14	-
少数株主損益	13	-	9	△ 4	-
当期純利益	23	15	12	△ 12	△ 3
（率）				-50.3%	-22.9%

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

旧古河スカイ控除後の売上高及び営業利益

FURUKAWA ELECTRIC

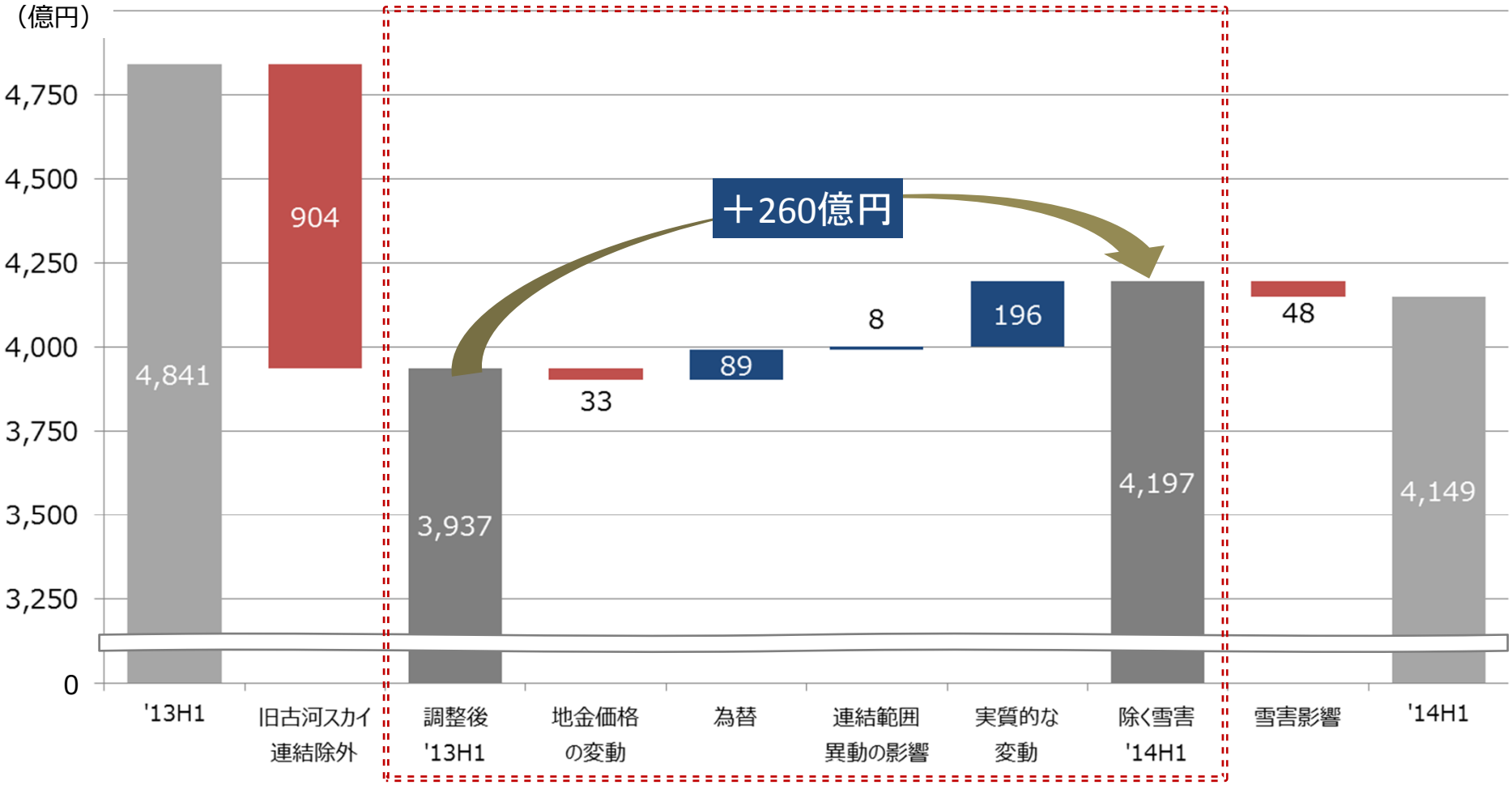
（単位：億円）

	13H1	14H1 予想	14H1 実績	前同比 増減	予想比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
旧古河スカイ控除後 売上高	3,937	4,060	4,149	212	89
（率）				5.4%	2.2%
旧古河スカイ控除後 営業利益	63	70	62	△ 0	△ 8
（率）				-0.3%	-10.9%
持分法投資損益	4	-	10	6	-
UACJ	-	-	16	-	-

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

売上高増減要因（前年同期比）

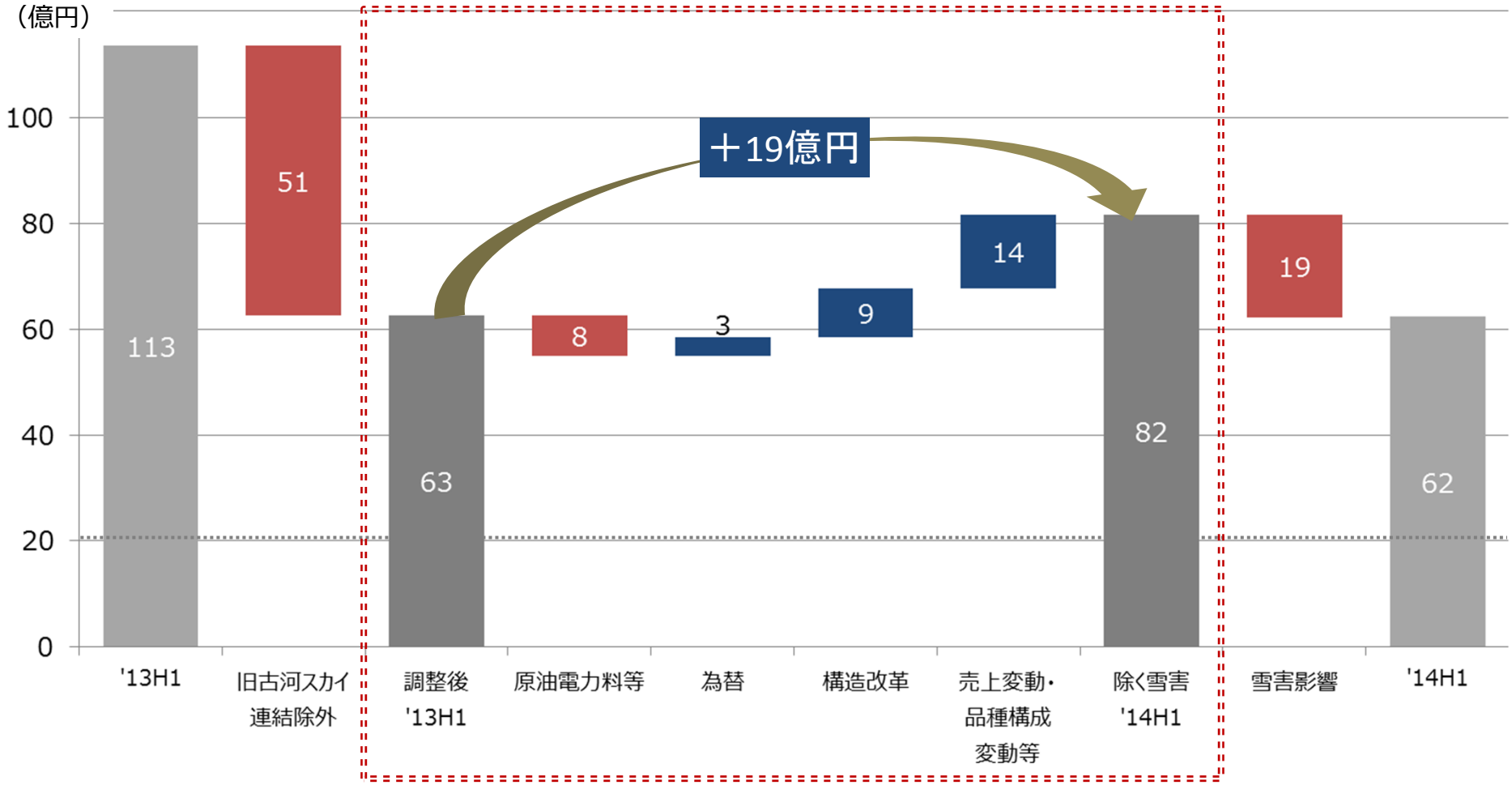
FURUKAWA ELECTRIC



All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

営業利益増減要因（前年同期比）

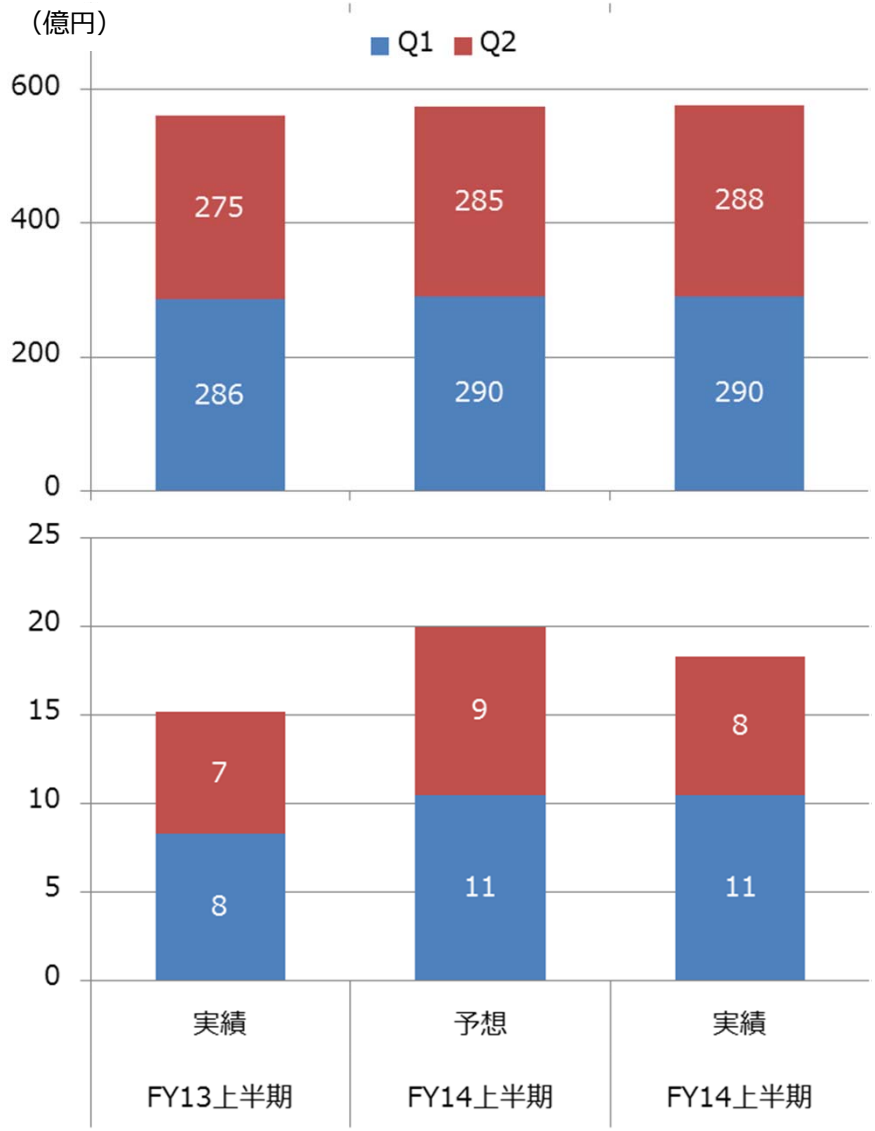
FURUKAWA ELECTRIC



All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別概況 1-①光ファイバ・ケーブル

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。予想は7/31時点）

前同比：13H1⇒14H1　+3億円

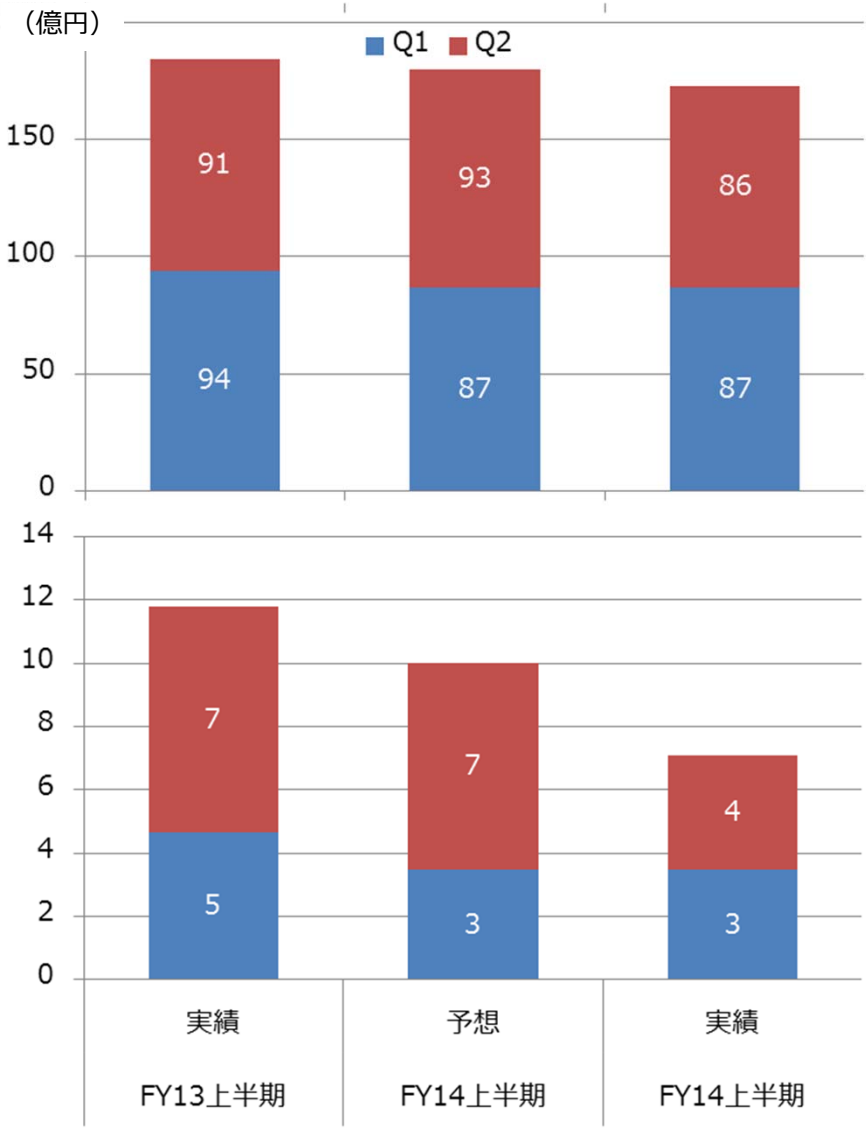
- 北米・欧州の需要回復や米国OFSの固定費削減効果などが寄与

予想比：予想⇒実績　△2億円

- 北米・欧州の需要回復により米国OFSは好調
- 生産拠点統合が完了した国内光ケーブルの損益改善が計画未達

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別概況 1-②フォトニクス・ネットワーク



（注　上段は売上高、下段は営業利益。予想は7/31時点）

前同比：13H1⇒14H1　△5億円

- タイ携帯電話関連工事が好調を持続するも、モバイル通信システム案件の売上が下半期へ延伸が影響

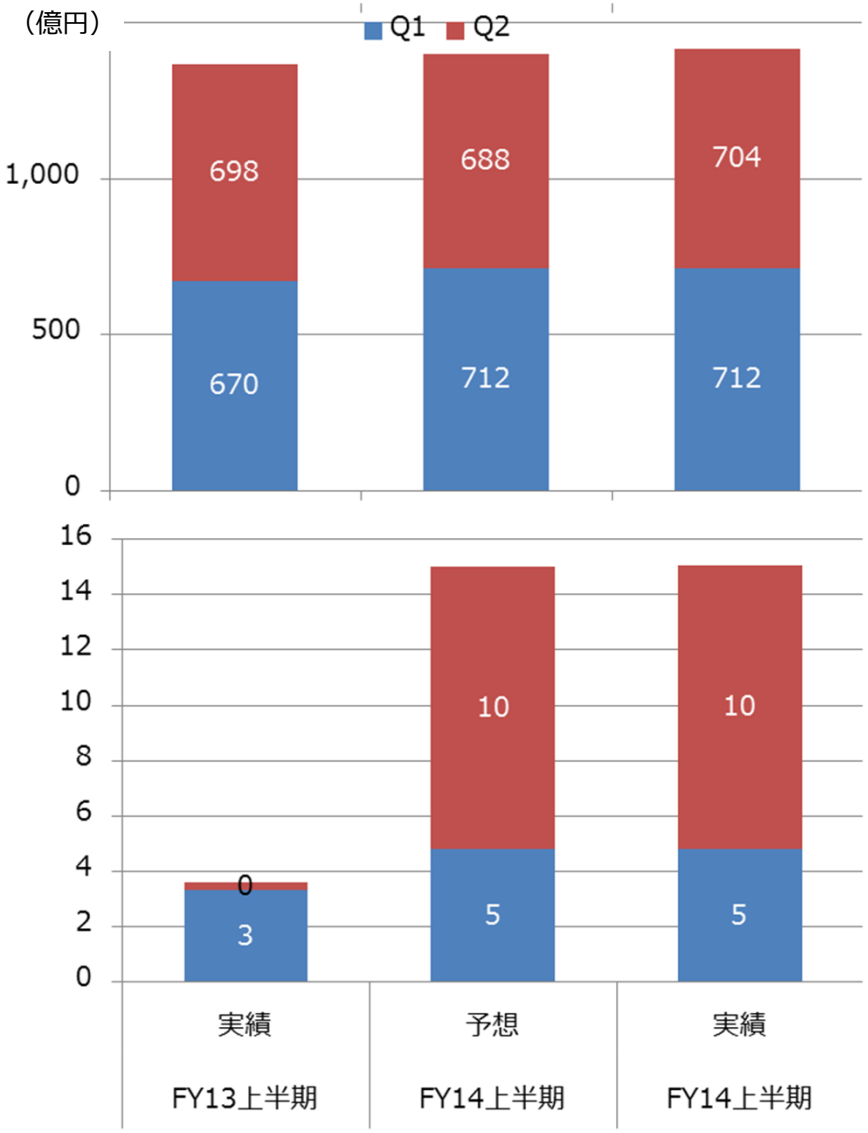
予想比：予想⇒実績　△3億円

- モバイル通信システム案件の売上が下半期へ延伸

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別概況 2-エネルギー・産業機材

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。予想は7/31時点）

前同比：13H1⇒14H1　+11億円

- 瀋陽古河が構造改革効果と売上増で回復
- スマートフォン向けの半導体製造用テープの好調などが貢献

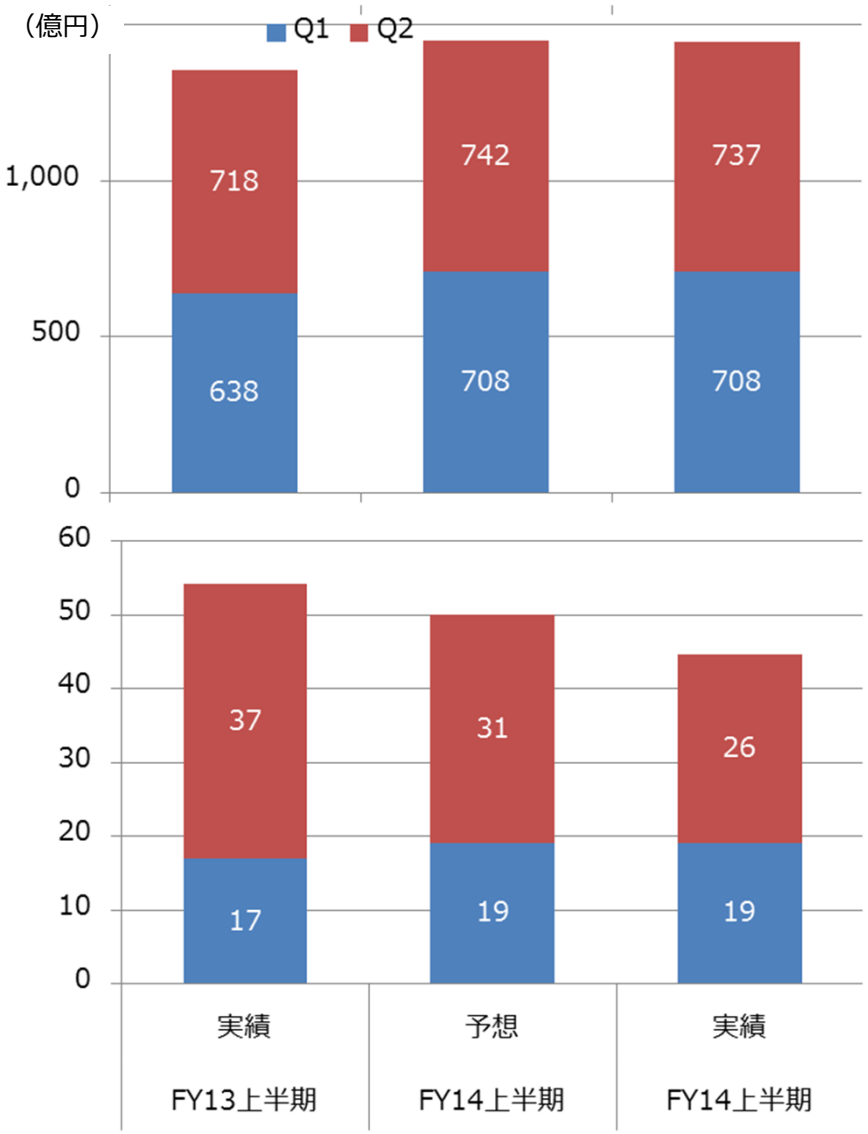
予想比：予想⇒実績　0億円

- 国内建設電販用電線の採算悪化を半導体製造用テープなどがカバー

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別概況 3-電装・エレクトロニクス

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。予想は7/31時点）

<u>前同比：13H1⇒14H1　△10億円</u>

- サーマル（放熱製品）は好調
- 自動車部品で円安によるコスト増やタイ市場減速、日光雪害などが影響

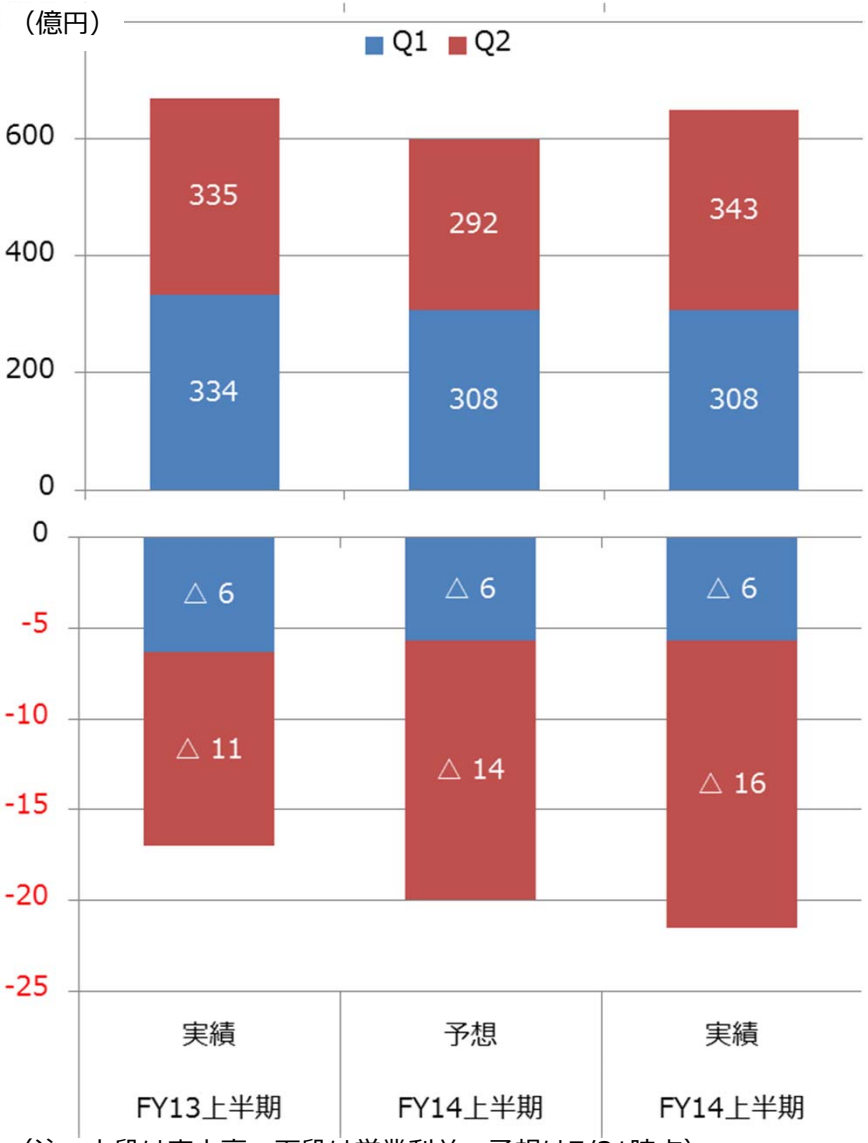
<u>予想比：予想⇒実績　△5億円</u>

- 自動車部品で円安によるコスト増やタイ市場の減速、国内市場の減速による需要減などが影響

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別概況 4-金属

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。予想は7/31時点）

前同比：13H1⇒14H1　△5億円

銅箔の収益改善を銅条の雪害が相殺

- 銅箔…販売数量が不足したものの、国内拠点で減損効果
- 銅条…雪害影響

予想比：予想⇒実績　△2億円

- 銅条…ほぼ想定通り
- 銅箔…台湾移管・生産性改善に遅れ

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

要約B/S他

FURUKAWA ELECTRIC

（単位：億円）

	13Q4末	14Q2末	増減
	a	b	b-a
総資産	7,148	7,247	99
有利子負債	2,779	2,943	※ 164
自己資本比率	24.8%	24.7%	-0.1%
D/Eレシオ	1.57	1.64	0.07
総資産回転率（除く軽金属）（年換算売上高／総資産）	1.17	1.14	-0.03
ＲＯＡ（年換算経常利益／総資産）	3.6%	2.0%	-1.6%

※ 有利子負債の増加について
…雪害影響による棚卸資産増+40、減価償却費を上回る設備投資+34など

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

2. 2014年度下半期業績予想

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

要約P&L

FURUKAWA ELECTRIC

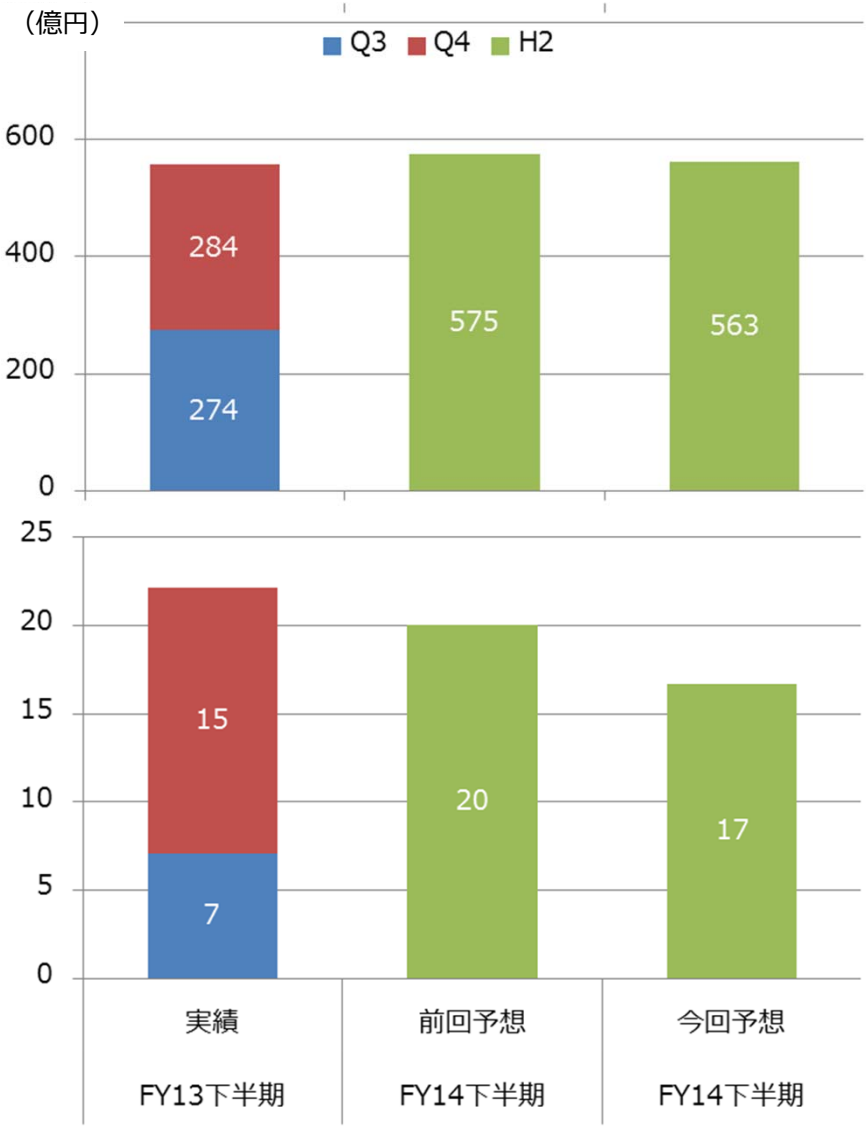
（単位：億円）

	13H2	14H2 前回予想	14H2 今回予想	前同比 増減	前回比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
売上高 （率）	4,477	4,440	4,351	△ 126 -2.8%	△ 89 -2.0%
営業利益 （率）	141	155	118	△ 23 -16.6%	△ 37 -24.1%
持分法投資損益	△ 12	-	-	-	-
為替損益	6	-	-	-	-
経常利益 （率）	139	165	128	△ 10 -7.4%	△ 37 -22.2%
特別損益	△ 33	△ 45	△ 21	12	24
法人税等	59	-	-	-	-
少数株主損益	13	-	-	-	-
当期純利益 （率）	33	60	48	16 47.8%	△ 12 -19.3%

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別予想 1-①光ファイバ・ケーブル

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。前回予想は7/31時点）

前同比：13H2⇒14H2　△5億円

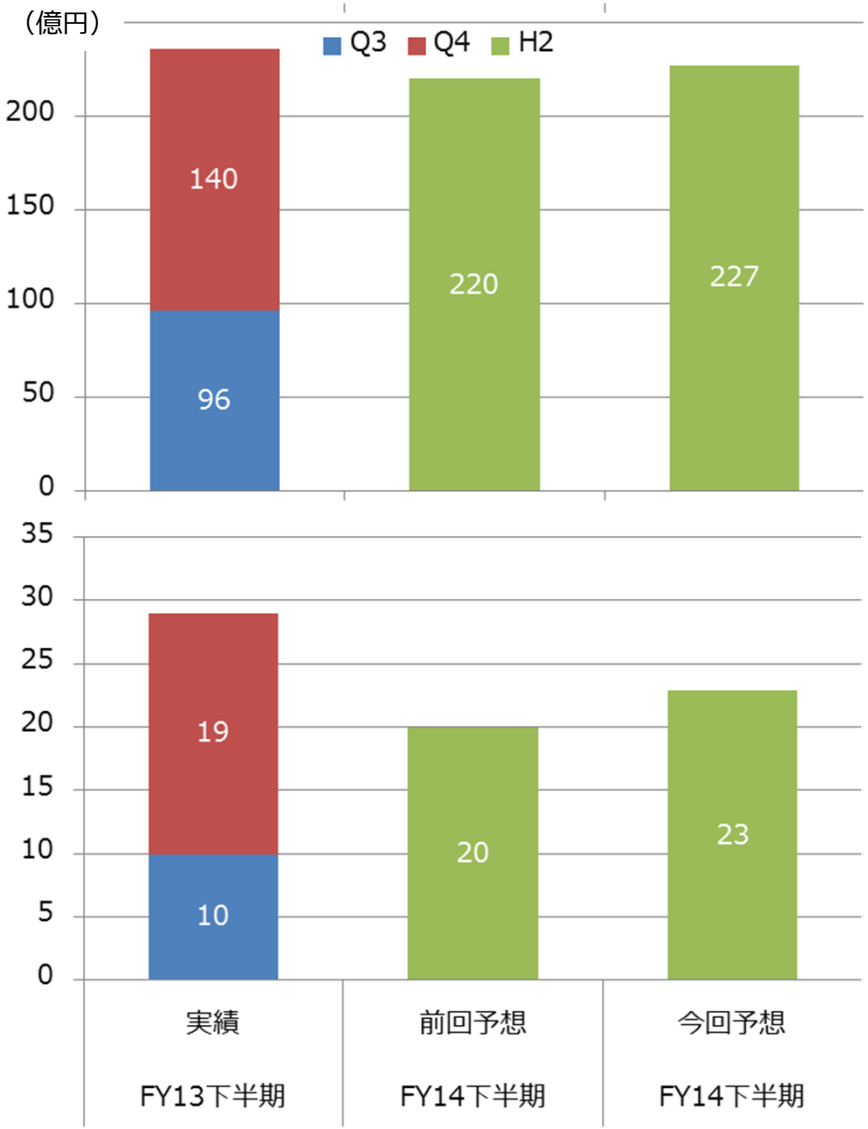
- 米国OFSで構造改革効果と売上増が見込まれるものの、前年度に国内で計上したスポット品が減少

予想比：前回⇒今回　△3億円

- 南米の需要を慎重視
- 国内拠点統合効果の発現に注力

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別予想 1-②フォトニクス・ネットワーク



（注　上段は売上高、下段は営業利益。前回予想は7/31時点）

前同比：13H2⇒14H2　△6億円

- タイ携帯電話工事で売上がピークアウト

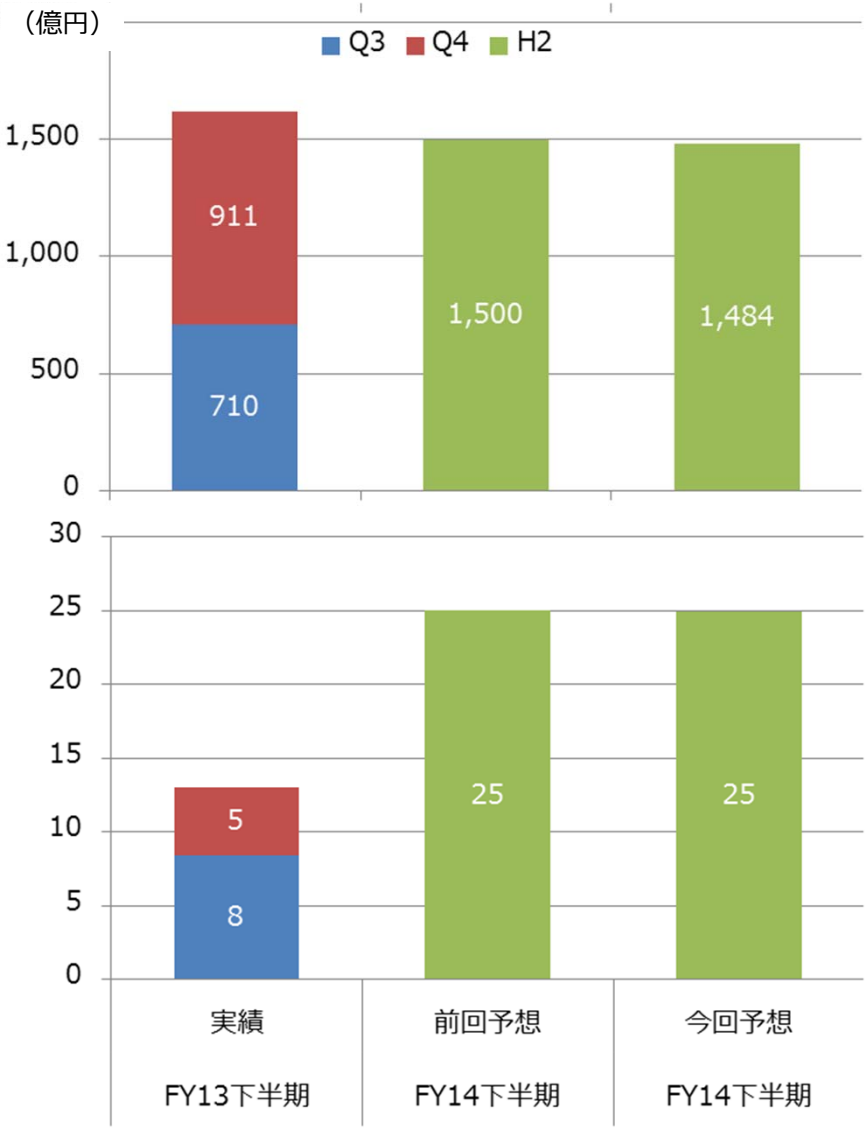
予想比：前回⇒今回　+3億円

- タイ携帯電話工事は想定以上
- 国内モバイル通信システムでQ2から延伸の売上を見込む
- デジタルコヒーレント関連製品は順調

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別予想 2.エネルギー・産業機材

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。前回予想は7/31時点）

前同比：13H2⇒14H2　+12億円

- 瀋陽古河の構造改革による回復
- インドネシアTMSの為替差損改善
- 導電材国内拠点の集約効果

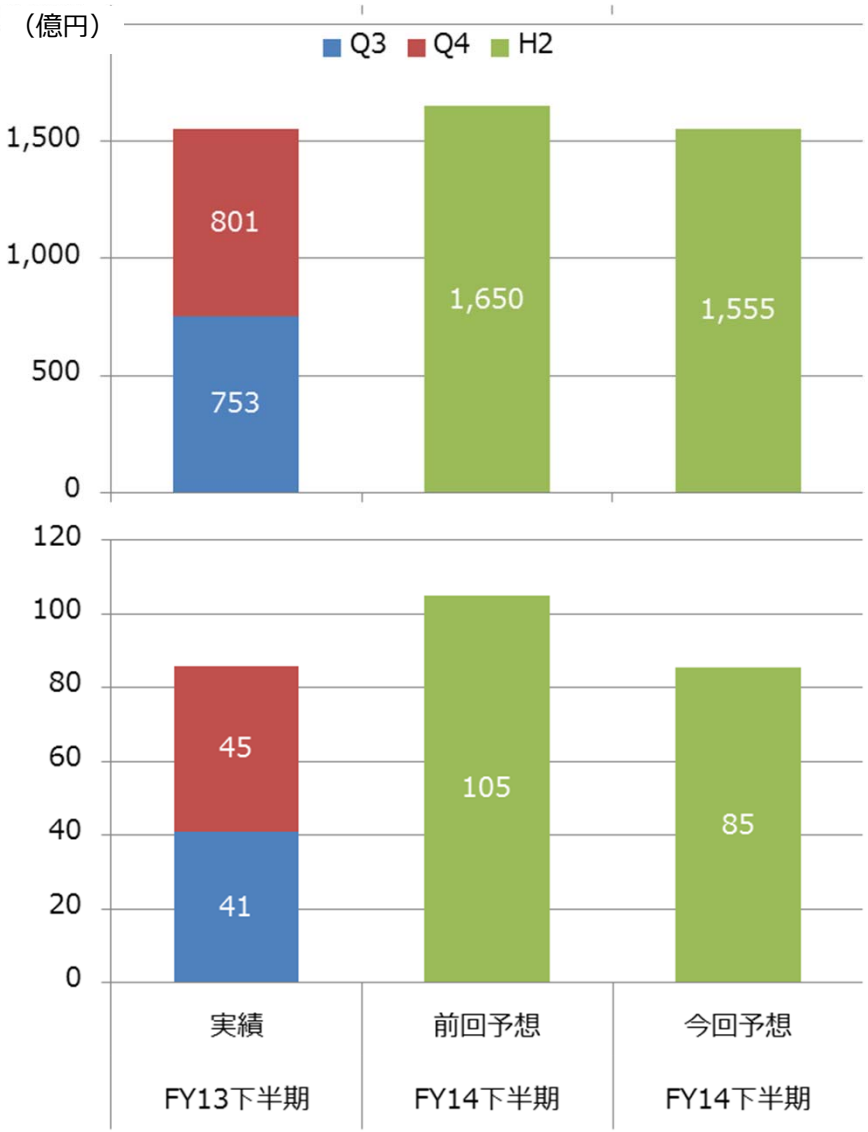
予想比：前回⇒今回　△0億円

- 前回予想通り

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別予想 3.電装・エレクトロニクス

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。前回予想は7/31時点）

前同比：13H2⇒14H2　△1億円

- 巻線…三層絶縁電線（TEX）等の売上増と原価低減
- 自動車部品…円安、日光雪害などによるコストアップ

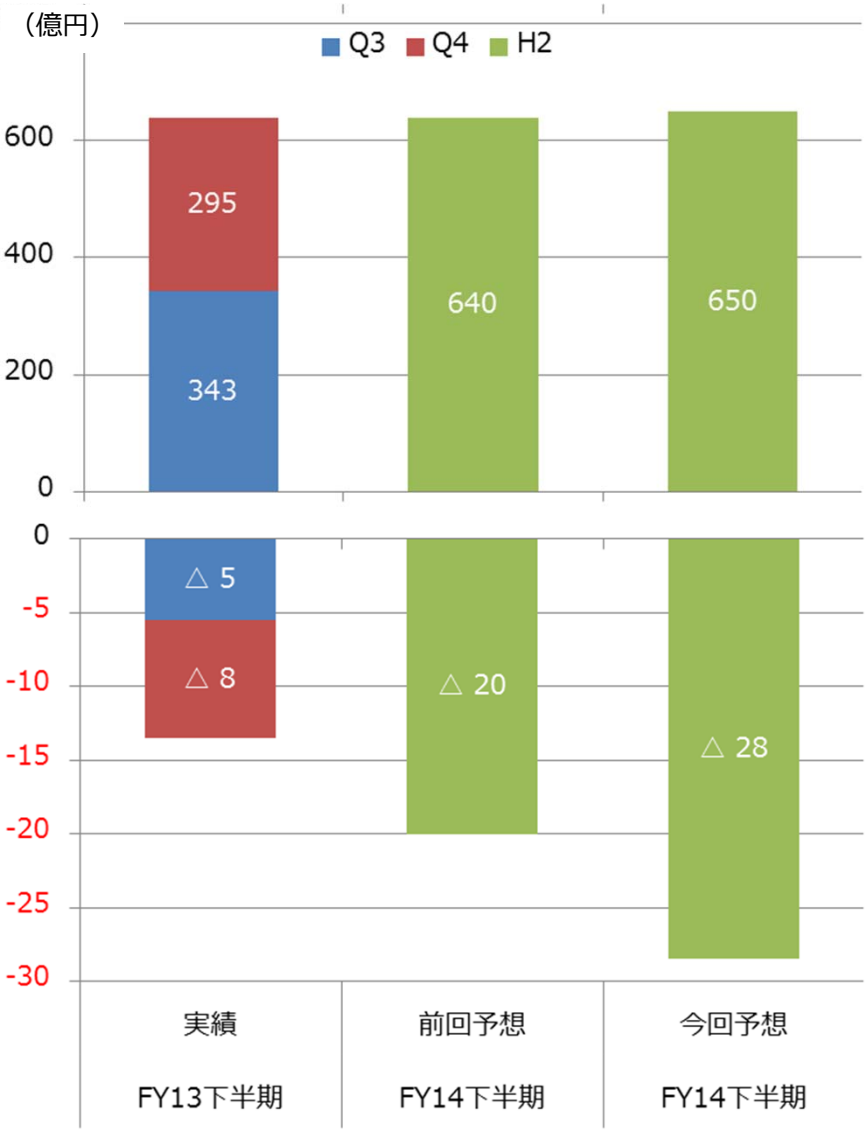
予想比：前回⇒今回　△20億円

- 自動車部品の国内市場減速と円安等によるコスト増

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別予想 4.金属

FURUKAWA ELECTRIC



（注　上段は売上高、下段は営業利益。前回予想は7/31時点）

前同比：13H2⇒14H2　△14億円

- 銅条…雪害影響は△23
  （13H2 △2⇒14H2 △25）
- 銅箔…国内拠点の減損効果と台湾拠点の売上増で収益改善

予想比：前回⇒今回　△8億円

- 銅条…雪害影響は△9
  （前回 △16⇒今回 △25）
- 銅箔…台湾拠点の売上増と生産性改善をめざす

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

日光雪害の現状と見通し

FURUKAWA ELECTRIC

- 素条全工程の操業再開に伴い発生するコストを改めて精査
  - 主にQ4へ影響額を追加（営業利益及び特別損失）
- なお、来年1月の素条全工程の操業再開のための準備は順調
  - 操業再開後の目標は、来期Q4の黒字化

（単位：億円）

【Q1決算 (7/31)】

	営業利益へのマイナス影響額			特別損失
		銅条	銅条以外	
Q1	8	6	2	7
Q2	12	11	1	4
H1	20	17	3	11
H2	18	16	2	4
Y	38	33	5	15

【Q2決算 (10/31)】

営業利益へのマイナス影響額			特別損失
	銅条	銅条以外	
8	6	2	7
11	10	1	6
19	16	3	13
27	25	2	11
46	41	5	23

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

3. 2014年度通期業績予想

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

要約P&L

FURUKAWA ELECTRIC

（単位：億円）

	2013	2014 前回予想	2014 今回予想	前期比 増減	前回比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	9,318	8,500	8,500	△ 818	0
（率）				-8.8%	0.0%
営業利益	255	225	180	△ 75	△ 45
（率）				-29.3%	-20.0%
持分法投資損益	△ 8	-	-	-	-
為替損益	20	-	-	-	-
経常利益	255	230	200	△ 55	△ 30
（率）				-21.7%	-13.0%
特別損益	△ 82	△ 72	△ 55	27	17
法人税等	90	-	-	-	-
少数株主損益	27	-	-	-	-
当期純利益	56	75	60	4	△ 15
（率）				7.0%	-20.0%

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

セグメント別売上高及び営業利益予想

FURUKAWA ELECTRIC

（単位：億円）

上段：売上高 下段：営業利益	FY13 実績	FY14 前回予想	FY14 今回予想	前期比 増減	前回比 増減	14H1 実績	14H2 予想	上下 増減
	a	b	c	c-a	c-b	d	e	e-d
情報通信	1,539	1,550	1,540	1	△ 10	750	790	39
光ファイバ・ケーブル	*1,118*	*1,150*	*1,140*	*22*	*△ 10*	*577*	*563*	*△ 15*
フォトニクス・ネットワーク	*421*	*400*	*400*	*△ 21*	*0*	*173*	*227*	*54*
エネルギー・産業機材	2,989	2,900	2,900	△ 89	0	1,416	1,484	67
電装・エレクトロニクス	2,910	3,100	3,000	90	△ 100	1,445	1,555	109
金属	1,307	1,240	1,300	△ 7	60	650	650	△ 1
軽金属	966	–	–	–	–	–	–	–
サービス・開発等	441	500	500	59	0	256	244	△ 11
売上高	9,318	8,500	8,500	△ 818	0	4,149	4,351	203
情報通信	78	70	65	△ 13	△ 5	25	40	14
光ファイバ・ケーブル	*37*	*40*	*35*	*△ 2*	*△ 5*	*18*	*17*	*△ 2*
フォトニクス・ネットワーク	*41*	*30*	*30*	*△ 11*	*0*	*7*	*23*	*16*
エネルギー・産業機材	17	40	40	23	0	15	25	10
電装・エレクトロニクス	140	155	130	△ 10	△ 25	45	85	41
金属	△ 31	△ 40	△ 50	△ 19	△ 10	△ 22	△ 28	△ 7
軽金属	44	–	–	–	–	–	–	–
サービス・開発等	4	0	△ 5	△ 9	△ 5	△ 2	△ 3	△ 2
営業利益	255	225	180	△ 75	△ 45	62	118	55

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

研究開発組織の改革

FURUKAWA ELECTRIC

■ 研究開発の狙い
- お客様のニーズに応えていくため、グループ連携・オープンイノベーションにより新たな価値を創造

■ そのために、研究開発組織を改革
- 製品別から研究ステージ別（基礎研究/要素技術開発/商品開発）へ
- 6研究所を4研究所へ再編
- 企画機能の強化、予算配分の見直し等

現体制

- 高分子技術研究所
- パワー＆システム研究所
- ファイテルフォトニクス研究所
- メタル総合研究所
- 横浜研究所
- 自動車電装技術研究所

注力事業研究

現行ターゲット領域（自動車 / インフラ）の研究開発に注力

先端技術研究

リスクはあっても大きな可能性を秘めた先端技術を研究し、将来の新事業ドメインにおける成長に備える

技術融合研究

コア技術の融合により新たな価値を創造。

現行の事業領域に限定せず、特徴ある技術を多くの事業で活用

新体制

- 自動車・エレクトロニクス研究所
- 情報通信・エネルギー研究所
- コア技術融合研究所
- 先端技術研究所

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

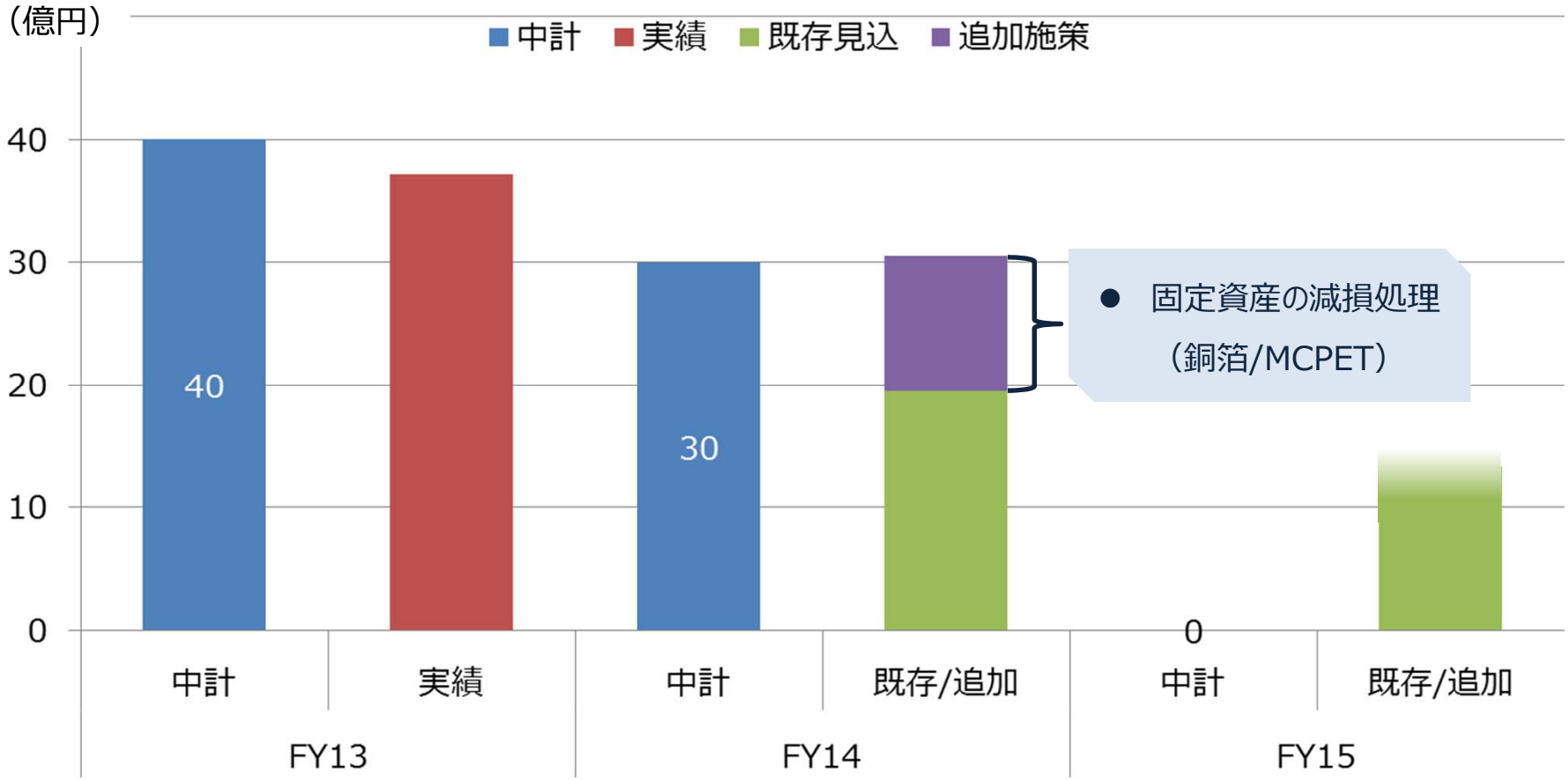
参考資料

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

事業構造改革とその効果について

FURUKAWA ELECTRIC

- ■ 事業構造改革を推進中
- ■ 各種施策は計画通り実行するも、収益貢献は未達
- ■ 着手済の昨年度からの施策を含め、追加対応により収益を上積み

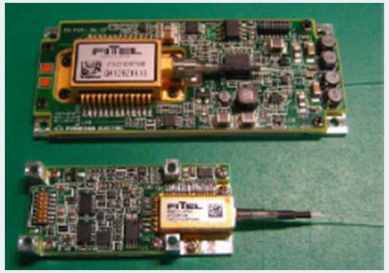


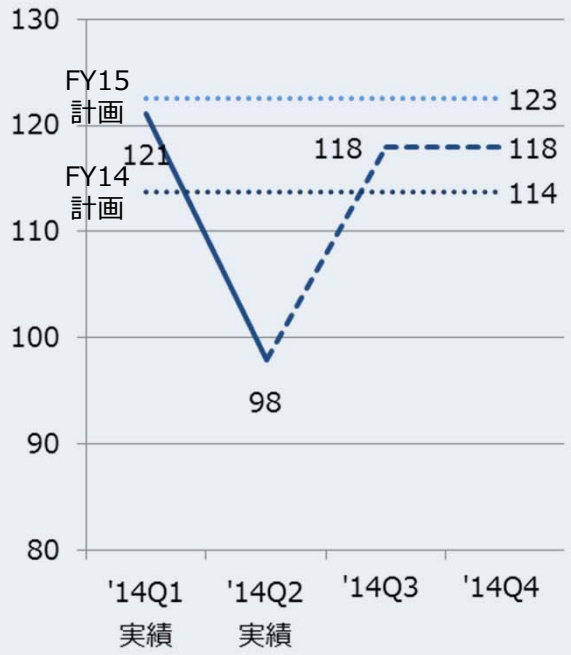
All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

戦略製品と売上数量トレンド（'13Q4=100）

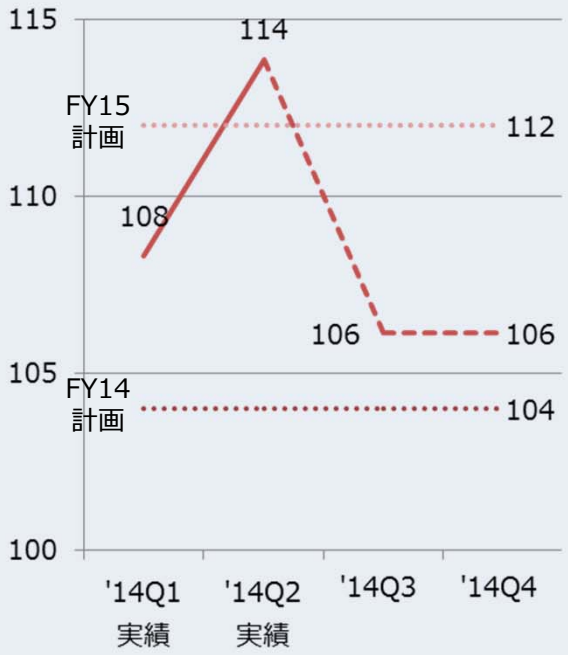
FURUKAWA ELECTRIC

ITLA/FBT
デジタルコヒーレント通信用集積型信号光源

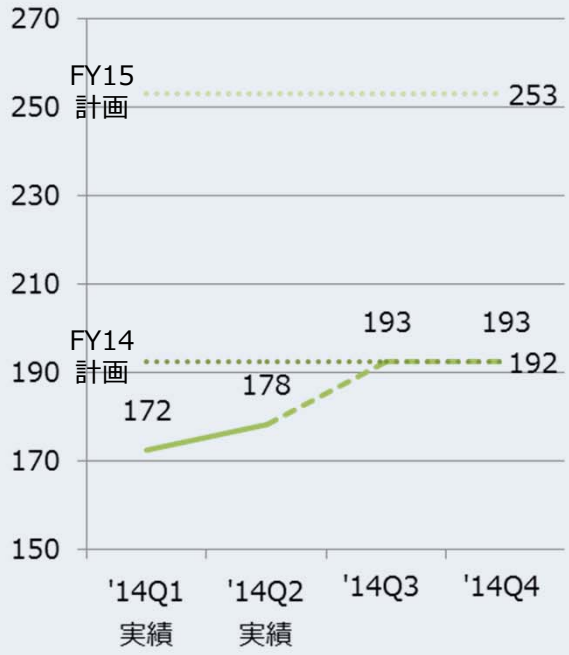




BSS
車載バッテリー状態検知センサー



SRC
車載エアバッグ用コネクタ



（注　各Q3及びQ4は下半期の計画を案分し記載）

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014

ご清聴ありがとうございました。

Bound to Innovate

All Rights Reserved, Copyright © FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2014